

くらさん

お世話になっていきます「親児の会」



託麻西小学校には、「親児の会」があります。我が子が通う学校が、いろいろな意味で少しでも良い環境になるのであれば、汗を流すのをいとわれないという保護者の皆さんの集まりです。親父ではありません。親児です。親と子どもの会ということです。親さんだけの活動ではな

く、できれば我が子もいっしょに活動させたいということで親児となっているそうです。保護者の皆さんだけではなく、中にはもう我が子は卒業しておられる方もいらっしゃいます。学校として

は、本当にありがたく思っています。上の2枚の写真は、これまでごちゃごちゃしていた倉庫の中を片付けていただいただけでなく、スコップを整理しやすいようにと、スコップ掛けを作っておられるところと完成したスコップ掛けの全容です。



また左の写真は、卒業式を前にして、体育館の外側は工事中の時に、少しでも気持ちよく卒業式に臨めるようにと体育館までの通路をきれいな緑色で塗り直しておられるところです。子どもさんの姿も見られます。ありがとうございました。

第1回職員研修(エピペンの使い方・誤嚥時の対応の仕方)



本校では、年25回ほど「校内研」と称して、職員の研修の時間をもっています。第1回目は、子どもたちの命にかかわる研修を行いました。もし、食アレルギーで子どもがアナフィラキシーを発症したらどのように対処したらよいか、適切な対応の仕方をまずDVDを視聴して学び、その後、研修用のエピペン（針や薬液はなし）を使って実際に一人ひとりエピペンを打つ練習をしました。その次には、子どもが誤って食べ物をのどに詰まらせたり、食道の方に食べ物などが入った時の吐かせ方を学びました。あつてはならない、でも、実際に起きた時にはどう対処するか、職員で確認しあいました。



第2回職員研修

2回目の職員研修は、4年生の国語の教材「ヤドカリとイソギンチャク」を使って、説明文の教材の分析の仕方や、何をどのようにしてその教材を使って学びとらせるか等について学びあいました。去年は、物語文でしたが、今年は説明文を中心に研修を重ねていく予定です。

